

第9回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和3年1月29日（金曜）午後3時から午後4時15分まで
会場	新潟市民プラザ（NEXT21 6階）
出席者	<p>委員</p> <p>日野浦委員、玉木委員、高橋委員、外内委員、高田委員、加藤委員、渡邊（紘）委員、青山委員、樋口委員、中野委員、三膳委員、大竹委員、田村委員、竹田委員、三國委員、飯田委員、田辺（龍）委員、宮本委員、佐藤委員、小沢委員、前川委員、渡邊（隆）委員、松山委員、小野塚委員、高取委員、田邊（裕）委員、知野委員、西潟委員、河端委員、梶委員、松川委員、後藤委員、藤瀬委員、島津委員、桐生委員</p> <p>出席 35名 欠席 3名 (板井委員、塩野委員、目黒委員)</p> <p>事務局・説明者</p> <p>[新潟市]高齢者支援課長 [新潟市教育委員会] 中央公民館館長代理 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長補佐、健康福祉課長、保護課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38名中 35名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>(議長＝外内会長)</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 新潟市都市計画マスタープラン区別構想（中央区）の策定について（意見聴取）（資料 議1）</p> <p>○ 建設課長より、始めに第4回（8月28日）全体会議で「新潟市都市計画マスタープラン区別構想（中央区）」の策定を依頼し、第4部会と意見交換を行ってきたことについて説明がありました。次に、中央区では「全体構想」に記載される都心に関する取組みが重複することから、「区別構想」ではそれらに重点を置きすぎず、中央区全体のまちづくりに触れる計画としていると説明がありました。策定案については、区の概要や現状と課題について説明があり、区づくりの方向性「魅力にあふれ、交流が生まれる拠点のみなとまち」「それぞれの地区がそれぞれの魅力をもつ住みよいみなとまち」について説明がありました。また、方向性をイメージ図として表したものが構想図となっており、都心や機能別拠点、生活拠点などを表記しているとの説明がありました。</p>

○ 第 4 部会の佐藤部会長より、これまでの部会での協議内容について 3 回にわたり意見交換を行った旨の報告がありました。主な意見として、「並び順を整理したり、具体的にわかりやすい標記に変えたりしてはどうか。」「区づくりの方向性をもう少し未来の持てる内容にしてほしい。」「脱車社会、空き家が埋まるほどの魅力ある区づくりを目指すべきではないか。」などがあり、討議を行ってきたとの報告がありました。

・小沢委員より、前回の計画から大きく変わった点やなくなったもの、後退したものがなかったか質問がありました。建設課長より、前回の計画では構想図だけだったところから現在の形に変更し、内容についても現在の時代背景を基にした計画になっていると回答がありました。

続けて、前回の計画に掲げたものの実現について評価はどうかと質問があり、建設課長より、実現できなかったものについては、これからの目標として掲げていると回答がありました。

・外内議長より、「②現状と課題」の各種集計データの出典時期が異なっていることや中央区の人口が直近 12 月末のデータでは 174,000 人であり、人口が減っているにも関わらず「(2) 人口・世帯」1 行目の「人口は増加傾向」としていることとは異なるが良いのかと意見がありました。建設課長より、出典のデータについては、揃っているものがなかったためそのような形になっており、国勢調査（人口）については再度確認の上検討したいと回答がありました。

○ 外内会長より、本日出た意見のほかに各委員から意見があれば、2 月 10 日（水）までに事務局まで提出してもらいたい旨説明がありました。また、次回の自治協議会で意見内容を報告することとなりました。

(2) デイサービスセンター早川町の閉鎖検討について（意見聴取）（資料 議 2）

○ 高齢者支援課長より、デイサービスセンター早川町の閉鎖について、指定管理者と協議を重ねた結果、令和 4 年 3 月に事業終了の方向で検討を進めていることについて説明がありました。自治協議会の前に周辺コミ協の会長には報告しており、6 月から利用者説明会や受け入れ先施設の調整を行い、令和 4 年 3 月末で施設閉鎖するということでした。また、施設閉鎖後の跡地活用については、現時点では未定であり、ほかに閉鎖した中央区のデイサービス 3 施設と併せて調整を進めると説明がありました。

・高橋委員より、デイサービスセンター早川町と同じ建物のシルバーハウジング早川町は、当初、若い人と高齢者が同じ建物に集って助け合える施設と聞いており、デイサービス閉鎖後も、北部総合コミュニティセンターに新たに設置される「入舟健康センター」と連携して交流の場となることを希望するとの意見がありました。また、デイサービスの利用者から不安に思う声がないかなど質問がありました。高齢者支援課長より、閉鎖に関する説明は昨年 12 月の市議会と、1 月 18 日に周辺の 4 コミ協の会長に説明しているが、ま

だシルバーハウジング早川町からの声は聞けていないと回答がありました。続けて、周辺コミ協会长への説明があったことは知らなかったもので、コミ協の会長だけでなく、文書で広く周知してもらいたいと意見がありました。

- ・渡邊（隆）委員より、民間法人への売却について可能性があるのかと質問があり、高齢者支援課長より、前々回の指定管理者選定の際は公募を行ったが、応募が1社（現指定管理者）だけだったため、今後も手を挙げる事業者は見込めないと考え、閉鎖による公募は行わなかったと回答がありました。
- ・西潟委員より、意見聴取の用紙の体裁について意見がありましたが、今後、総務運営会議で調整することとなりました。
- ・加藤委員より、コミ協の会長への説明だけでなく、文書による説明もお願いしたいと意見がありました。
- ・高橋委員より、跡地の活用について健康福祉課にも前向きに考えてもらいたいと意見がありました。

- 外内会長より、本日出た意見のほかに各委員から意見があれば、2月10日（水）までに事務局まで提出してもらいたい旨説明がありました。また、次回の自治協議会で意見内容を報告することとなりました。

3 報告

――委員活動報告――

(1) 部会からの報告について（資料 報1-1 1-2 1-3 1-4）

- 「第1部会」樋口部会長、「第2部会」大竹部会長、「第3部会」後藤部会長、「第4部会」佐藤部会長、「中央区自治協議会だより編集部会」三國部会長より、各部会の開催概要及び検討内容について報告がありました。

4 その他

- 建設課長より、除雪体制について説明がありました。出動基準について、車道は主要幹線道路の積雪10cm以上、歩道は20cm以上で、幹線道路、生活道路区別なく行うとのことです。ただし、大雪の場合は、幹線道路の交通を確保するため、生活道路は最低限の車線を確保し、排雪作業はその後の対応になると説明がありました。除雪の後は、家の前に雪が残り出入口を塞いでしまうため、皆様に除雪をお願いしたいとのことでした。また、大雪時には高齢者の生活相談として健康福祉課に相談窓口を開設することや、円滑なごみ収集のため収集場の除雪や高齢者への力添えをお願いしたいとのことでした。

- ・佐藤委員より、私道の除雪に関して、業者の斡旋など市の除雪とは関係しないところについても、相談できる役割を市の窓口で担ってくれると助かるとの意見がありました。建設課長より、私道について助成制度を案内しているが、業者の斡旋はしていないとのことで、今後、土木総務課などとも意見交換をしていきたいと回答がありました。

	<p>○ 窓口サービス課長より、「とやの物語パネル展 2020」について案内がありました。場所はNEXT21 1階アトリウム、会期は2月5日（金）午後3時までで、鳥屋野潟の過去から現在、未来の姿をパネル展示しているほか、潟の中のごみ拾いを、子どもたちと行った様子を動画で紹介しているのでぜひ見に行ってみてほしいとのことでした。</p> <p>○ 高橋委員より、市の地域医療推進課が所管するAED貸出について、令和3年3月31日で貸出事業廃止が決まっているとのことだが、継続してもらいたいと要望がありました。公共施設等への設置が進んだことが理由とのことだが、命に関わる重要なことであり、イベント等で気軽に無料で使える制度だったので継続してもらいたいとのことでした。区長より、いただいた要望については担当課の地域医療推進課と意見交換をしていきたいと回答がありました。</p> <p>5 閉会</p>
傍聴者	2名
報道機関	0社